

登録コード	E4280900	開講年度	2026				
授業科目	総合的な学習の時間の指導法					担当教員	森下 孟
英文授業名	Teaching Method of the Period for Integrated Studies					副担当	安達 仁美
単位数	1	講義期間	後期(集中)	曜日・時限	火曜・3時限	対象学生	
講義室				授業形態	講義	遠隔授業科目	
						備考	
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観						
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能						
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	小・中・高等学校生時代の自身の経験を振り返りながら、総合的な学習の時間を通じて児童生徒のどのような資質・能力を育成すべきかを考察し、児童生徒の探究的な見方・考え方を働かせ、教科等の枠を超えた横断的・総合的な学習や児童生徒の興味・関心等に基づく学習を取り入れた指導計画を企画・立案する。						
(5)授業計画	第 1 回：学習指導要領からみる総合的な学習の時間（森下教員） 第 2 回：総合的な学習の時間の意義と役割（安達教員） 第 3 回：探究的な学習のあり方（安達教員） 第 4 回：探究的な見方・考え方で育成すべき資質・能力（森下教員・安達教員） 第 5 回：教科等の枠を超えた横断的・総合的な学習のあり方（森下教員・安達教員） 第 6 回：「主体的・対話的で深い学び」を実現するために（森下教員・安達教員） 第 7 回：総合的な学習の時間と情報活用能力（森下教員） 最終試験 第 2 回～第 6 回までの内容は、順序が変更となることがある。						
(6)成績評価の方法	・ 指定されたAPRINを受講修了したうえで、授業のねらいの到達度を測る毎回の課題（60％）、最終試験（40％）の成績を総合的に評価する。 指定されたAPRINの受講修了課題が提出されていない場合は、単位の認定ができない。 主要な課題・レポートなどの提出がない場合は、単位の認定ができない場合がある。 各授業でのディスカッションへの参加状況や受講態度などに応じて成績評価を加味する。 ・ 得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	・ 卓越している…総合的な学習の時間の意義と役割について、育成すべき資質・能力を踏まえて説明することができる。また、児童生徒の探究的な見方・考え方を働かせ、教科等の枠を超えた横断的・総合的な学習や児童生徒の興味・関心等に基づく学習を取り入れた指導計画を、日常生活や社会と関係づけながら、企画・立案することができる。 ・ かなり上である…総合的な学習の時間の意義と役割について、探究的な学習や問題解決能力に触れながら説明することができる。また、児童生徒の探究的な見方・考え方を働かせ、教科等の枠を超えた横断的・総合的な学習や児童生徒の興味・関心等に基づく学習を取り入れた指導計画を企画・立案することができる。 ・ やや上にある…総合的な学習の時間の意義と役割について、学習指導要領に即して説明することができる。また、児童生徒の探究的な見方・考え方を働かせる指導計画を企画・立案することができる。 ・ 水準にある…総合的な学習の時間の意義と役割について、学習指導要領を参照しながら説明することができる。また、総合的な学習の時間の目標及び内容に即した指導計画を企画・立案することができる						
(8)事前事後学習の内容	事前学習では、eALPS上にアップロードされた授業資料、または前時に配布した資料を通して予習を行う。事後学習では、授業内で示した課題に取り組み、eALPS上の指定したフォーラムに期日までに自分の意見を書きこむこと。						
(9)履修上の注意	・ 全員、1年次に必ず履修すること。開講日時が変則的であるため、スケジュール管理に留意すること。 ・ 講義内では自分の考えを述べたり、書いたりする場を多く設定するので、常に自分なりの問題意識を持って授業に臨むこと。また、グループ活動を積極的に行うため、遅刻や欠席のないように心がけること。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	担当教員は長野（教育）キャンパスにいるため、原則としてメールで連絡をすること。 あらかじめアポイントをとることにより、松本キャンパスでの出張オフィスアワーを実施可能である。 ・ 附属次世代型学び研究開発センター2F 森下研究室 E-mail：morisita@shinshu-u.ac.jp オフィスアワー：（前期）メール予約で随時対応 （後期）メール予約で随時対応 ・ 北校舎N308 安達研究室 E-mail：adachi@shinshu-u.ac.jp オフィスアワー：（前期）メール予約で随時対応 （後期）メール予約で随時対応						
【教科書】	・ 幼稚園教育要領 ・ 小学校学習指導要領 ・ 中学校学習指導要領 ・ 高等学校学習指導要領 ただし、「教職・カリキュラム論A」で指定された学習指導要領をもって、これらの学習指導要領を						

【教科書】	すべて網羅することができる。詳しくは初回授業，または「教職・カリキュラム論A」での指示に従うこと。
【参考文献】	・授業中に適宜紹介する